

いんばは！

# 市民病院です！

院長のいんばは

## 10年後も 安心して暮らし続けられる

### まちであるために



加東市民病院  
院長 金岡 保

明けましておめでとうござ  
います。

加東市の人口グラフを5歳  
毎に分析すると、現在ふたつ  
の山に集中しています。40歳  
から44歳と、65歳から69歳で  
す。10年後のこのまちはどう  
なっているでしょうか。年齢  
構成からすると、50歳から54  
歳と、75歳から79歳のふたつ  
の世代の多いまちであること  
が推測されます。

このまちで生まれ、暮らし、  
そしてこのまちで最期を迎え

られる暮らしよいまちづくり  
のために、加東市民病院は、  
みなさまとどう向き合ったら  
よいのでしょうか。

昨年4月、市民病院、介護  
老人保健施設ケアホームかと  
う、訪問看護ステーションの  
組織・機能を統合しました。  
10年後も医療と介護の安心が  
確保できているまちづくりの  
ための組織改編です。

高齢者が助けを必要とする  
とき、どこに相談したら良い  
のでしょうか。最初の取り組  
みとして、市民病院3階に地  
域支援フロアなる部署を新設  
し、医療と介護の窓口相談を  
始めました。そこに行けば悩  
みが一度で解決すると喜ばれ  
るよう、職員が一丸となって  
頑張っています。

市民病院は、10年後もこの

まちの医療の「核」として、

検査・処置・手術および入院  
治療を提供し続けます。日頃  
の診療は、地元の開業医との  
連携による分担です。市の医  
療設備・機器を活用した診療  
が必要な場合は、市民病院に  
紹介してもらいます。さらに  
高度な診療が必要な場合は、  
近隣の急性期病院に紹介しま  
す。そして、また戻って来て  
いただきます。

訪問診療は、地元の開業医  
の先生方にお願したいと考  
えています。訪問看護は市民  
病院が担います。地元の開業  
医や地域の介護事業所などと  
機能分担・連携を図りながら、  
より一層在宅療養を重視して  
いきます。

10年後も安心して暮らし続  
けられるまちであるために、  
市民病院にご理解とご支援を  
よろしくお願い申し上げます。



問い合わせ

加東市民病院

☎ 42・5511

## 「三種混合ワクチン」の製造と販売が中止されます



計4回の三種混合ワクチン接種が終了していないお子さんは、母子手帳でこれ  
までの接種回数や接種間隔をご確認のうえ、事前に医療機関へ電話予約をして速  
やかに接種を受けてください。

※四種混合ワクチンで接種を始められた方は、三種混合ワクチンを接種する必要  
はありません。

問い合わせ 市民安全部健康課（庁舎2階） ☎ 43-0435